

Best Available Copy

TWO BOTTLE PACKING ALLOWING SEPARATE STORAGE AND MIXING FOR USE OF TWO PRODUCTS

Patent number: JP5193677
Publication date: 1993-08-03
Inventor: GOYET DANIEL; BOE DREYFUS FABRICE
Applicant: L'OREAL SA
Classification:
- International: B65D81/32
- european:
Application number: JP19920237625; 19920814
Priority number(s):

Also published as



EP052870
US527730
FR268035
EP052870

Abstract of JP5193677

PURPOSE: To facilitate moving of oxygen in the long axis direction in the intermediate parts installed in a first bottle through the neck of a second bottle by a small turn of the second bottle, in spite of making of the second bottle made of the material that does not allow the permeation of oxygen.

CONSTITUTION: A packing comprises the intermediate components 8 installed with a central duct 9 receivable of a separable plug 10 fixed at the bottom of the first bottle 1 and the second bottle 2 having a neck 24 installed with a cap 25 for the storage received in the central duct 9. A linking means L is provided between the neck 24 and the cap 25. Between the neck 24 and the central duct 9, a connection means J different from the linking means L is installed. A co-working part 29 of the central duct 9, which co-works with a part 28 of the neck 24 is so disposed as not to interfere with a part 26 of the linking means placed on the neck 24.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-193677

(43)公開日 平成5年(1993)8月3日

(51)IntCl.⁵

B 6 5 D 81/32

識別記号 庁内整理番号

T 7191-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数16(全 7 頁)

(21)出願番号 特願平4-237625

(22)出願日 平成4年(1992)8月14日

(31)優先権主張番号 9110378

(32)優先日 1991年8月16日

(33)優先権主張国 フランス(FR)

(71)出願人 392006020

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ75008、リュウ・ロアイヤ
ル 14番

(72)発明者 ダニエル、ゴイエ

フランス国ロマンヴィル93230、シュマ
ン・デ・ロリオ 15番

(72)発明者 ファブリス、ボア・ドレィフェ

フランス国パリ75018、リュウ・ジョゼ
フ・ドゥ・マイストル 60番

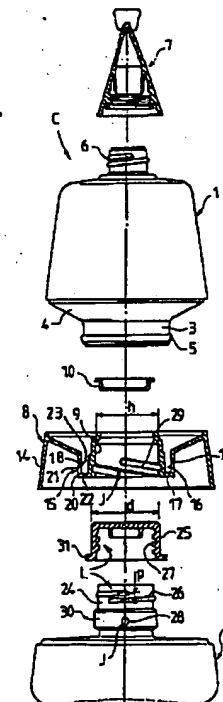
(74)代理人 弁理士 真田 雄造 (外1名)

(54)【発明の名称】 2種類の製品を別別に貯蔵し、かつ使用のために混合できる、2個のびんを備えたパッケージ

(57)【要約】

【目的】 酸素を透過しない材料で第2のびんを作るにもかかわらず、この第2のびんの小さい回転角で、この第2のびんの頸部を、第1のびんに取付けた中間部品内に長い軸線方向移動のできるようにすることにある。

【構成】 第1のびん1の底部に固定され、分離できる栓10を受入れる中央ダクト9を設けた中間部品8と、中央ダクト9内に受入れられ、貯蔵用のキャップ25を取付けた頸部24を持つ第2のびん2とを備える。頸部24及びキャップ25の間には結合手段Lを設ける。頸部24及び中央ダクト9の間に、前記結合手段Lとは異なる連結手段Jを設ける。頸部24の部分28と協働する中央ダクト9の協働部分29を、頸部24に位置させた結合手段の部分26に干渉しないように配置する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 (イ) スカート部(3)の形の底部が開口し、頂部に分配キャップ(7)を持ち、第1の製品を入れる第1のびん(1)と、(ロ) この第1のびんの底部に固定され、前記第1のびんの閉鎖のために、頂部に取りはずし可能な栓(10)を入れるように、中央ダクト(9)を備えた中間部品(8)と、(ハ) 前記中央ダクト(9)内にはまるように頸部(24)を完備し、この頸部に貯蔵のためのキャップ(25)を取付けられ、前記頸部と前記キャップとの間にくにねじ形の結合手段(L)を位置させ、第2の製品を入れる第2のびんと、(ニ) この第2のびんの頸部(24)と、前記中央ダクト(9)の間に位置し、前記第2のびんの頸部(24)の部分(28)と、前記中央ダクト(9)内の協働部分(29)とから成る連結手段(J)と、前記キャップ(25)を前記第2のびん(2)から除去するときは、前記頸部(24)が前記栓(10)を除去して2種類の製品を混合できるように組立てられ、2種類の製品、とくに液体を相互に別別に貯蔵し、使用時に混合することのできる、2個のびんを備えたパッケージにおいて、

前記連結手段(J)は前記結合手段(L)とは異なるものとし、前記、中央ダクト(9)内の協働部分(29)を、前記第2のびんの頸部(24)の前記結合手段(L)の部分(26)に干渉しないように配置したことを特徴とする、2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項2】 前記連結手段(J)に、前記第2のびんの頸部(24)の端部において、半径方向外方に突出する少なくとも1つの出張り(28)と、前記中間部品の中央ダクト(9)の端部において、前記出張り(28)に協働することのできる少なくとも1つのらせん形の傾斜路(29)とを設けたことを特徴とする、請求項1の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項3】 前記第2のびんの頸部(24)に、正反対に位置する2つの出張り(28)を設け、かつ前記中央ダクト(9)に、正反対に位置する2つのらせん形の傾斜路(29)を設けたことを特徴とする、請求項2の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項4】 前記キャップと、前記第2のびんの頸部との間の前記結合手段(L)を、ねじ(26)により構成した請求項2又は3の2個のびんを備えたパッケージにおいて、前記中央ダクト(9)に前記ねじ(26)のピッチ(p)より大きいピッチを持つらせん形の傾斜路(29)を位置させたことを特徴とする、2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項5】 前記らせん形の傾斜路(29)のピッチを、前記中間部品(8)に対して前記栓(10)を押出すのに必要な前記頸部(24)の軸線方向移動が、1回転以下で得られるような寸法にした、請求項4の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項6】 第1のびん(1)及び第2のびん(2)が、卵形の横断面を持ち、前記らせん形の傾斜路(29)/出張り(28)のシステムによる非常に正確な最終位置決めが確実にできるようにしたことを特徴とする、請求項2ないし5のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項7】 前記中間部品(8)に、前記中央ダクト(9)内において、前記第2のびんの出張りと協働する1個又は複数のキャップ錠を設けたことを特徴とする、請求項2ないし6のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項8】 前記キャップ錠を、所定場所へのねじ込みの完了時に、前記出張り(28)が通り抜け、かつ前記らせん形の傾斜路(29)内に位置させた1個又は複数の突起により構成したことを特徴とする、請求項7の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項9】 前記第2のびん(2)を、ガラスで作ったことを特徴とする、請求項1ないし8のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項10】 前記出張り(28)を、前記第2のびん(2)のキャップ(25)の外径(d)に有効に等しい外径を持つ円筒形区間(30)上に位置させ、前記中間部品(8)の中央ダクト(9)の内径(h)を前記円筒形区間(30)、従って前記キャップ(25)を入れるのに十分にしたことを特徴とする、請求項2ないし9のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項11】 貯蔵のために、上下続きの単位体形成し、前記第2のびん(2)を、盗難よけのバンドにより上部の前記第1のびん(1)又は中間部品(8)に連結したことを特徴とする、請求項1ないし10のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項12】 前記中間部品(8)に、連結の完了時に前記第2のびん(2)に係合し、結果的に保持されることによって、キャップのはずれを防ぐ錠を形成する下部部分を持つ壁(14)を設けたことを特徴とする、請求項1ないし11のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項13】 貯蔵のために、前記第2のびん(2)上のキャップ(25)が、前記中間部品の中央ダクト(9)に十分入るように構成したことを特徴とする、請求項1ないし12のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項14】 前記中間部品(8)に、前記第1のびんの下部部分を形成するスカート部(3)を入れるように環状のくぼみ(16)の形の中空部分(15)を設け、前記中間部品(8)と前記スカート部(3)と間の密封が、このスカート部の内面に対し確実に得られるようにしたことを特徴とする、請求項1ないし13のいずれかに記載の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項15】 前記スカート部(3)に、前記環状の

くぼみ(16)の外壁(19)の内面上の少なくとも1つの肩部(18)の下方にしっかりとつかまれる外側ビード(5)を設けたことを特徴とする、請求項14の2個のびんを備えたパッケージ。

【請求項16】 前記肩部(18)が、周辺の一部にわたって延び、前記中間部品(8)に、前記1つの肩部(18)又は各肩部(18)の下側において窓(20)を設けたことを特徴とする、請求項15の2個のびんを備えたパッケージ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、2種類の製品、とくに液体を別別に貯蔵ができ、かつ使用のために、混合することのできる、2個のびんを備えたパッケージにおいて、肩部がスカート部の形の底部が開口し、頂部に分配器状の取付具を持ち、第1の製品を入れる第1のびんと、この第1のびんの底部に固定され、前記第1のびんを閉鎖できる別個の栓を頂部に受入れるように中央ダクトを備えた中間部品と、貯蔵のためのキャップを持ち、前記中央ダクトにはまる頸部を持ち、この頸部と前記キャップとの間に、とくにねじ形の結合手段を設け、第2の製品を入れる第2のびんとを備え、この組合せを、前記キャップを前記第2のびんから除去するときは、前記頸部が前記栓を除去し2種類の製品の混合ができるように組立てて成る、2個のびんを備えたパッケージに関する。

【0002】米国特許第4,823,946号明細書には、2個のプラスチック材料のびんを設けたこの種のパッケージを示してある。貯蔵位置では、第2のびんは、その頸部にねじ込んだキャップにより閉じられる。2個のびんの内容物を使い混合するときは、第2のびんのキャップをねじ戻し、ねじキャップを受ける第2のびんの頸部のねじに協働させることのできるねじを持つ中間部品の中央ダクト内に第2のびんを入れる。

【0003】この種の2重パッケージでは、栓を放出するように中間部品内に第2のびんを挿入することを、制限した回数なるべくは1回以下の回転により行うことが顧客による承認のために実際上肝要なことである。

【0004】米国特許第4,823,946号明細書によれば、第2のびんの頸部のねじは、貯蔵中にねじキャップを受入れると共に中間部品と協働するように作用するから、このねじは、使用の際に、中間部品に対する頸部の長い軸線方向移動が、小さい回転角で得られるように比較的大きいピッチを持たなければならない。

【0005】第2のびんの頸部に大きいピッチのねじを必要とすることは、第2のびんにプラスチック材料を使用することが有効になる。その理由は、ガラスびんでは、このようなガラスびんに対する特定の製造条件によって同時に満足できる密封作用の得られる大きいピッチを持つねじを作ることが実際上できないからである。

【0006】前記した2個のびんのパッケージは、プラスチック材料のびん内では若干が不満足の状態に保たれる製品に使われる。

【0007】これはとくに、毛染め用の染料(color solution)と、染料の使用時に必要とされる酸化剤とを収容する場合である。「酸化染料」で毛を染めるには、毛髪への使用時に染料に過酸化水素のような酸化剤を加えることによって毛髪に染料を確実に展開することが必要である。従って二重のびんを設けることは毛髪剤の市場の程度によって重要である。

【0008】一般に第2のびんに入れた染料は、ポリエチレン又はポリプロピレンのプラスチック材料びん内では良好な貯蔵ができない。その理由は、酸素が壁を通過し毛髪に塗布する前に染料を酸化するからである。

【0009】本発明の目的はなおとくに、第2のびんがプラスチック材料以外の材料、とくにガラスから成り、本発明パッケージの構造の一部でこのような材料の選択に支障を伴わないで、毛染め用の酸化染料を入れるようにした構造を持つ前記したようなパッケージを提供することにある。

【0010】本発明は又、製造が結局は容易であり、できるだけ経済的であり、制限された空間内で良好な条件のもとで貯蔵でき、容易迅速に使用できる前記のようなパッケージにある。

【0011】本発明によれば2種類の製品、とくに2種類の液体を別別の貯蔵ができ、使用時に混合することのできる前記したような、2個のびんを備えたパッケージにおいては、前記連結手段とは異なる結合手段を第2のびんの頸部と、中央ダクトとの間に設け、前記結合手段に、第2のびんの頸部に設けた部分と、この第2のびんの頸部に設けた前記結合手段の一部分に干渉しないように配置した中央ダクト内の協働部分とを設けたことを特徴とする。

【0012】この連結手段は、第2のびんの頸部に設けられ少なくとも1つの半径方向外方に突出する出張りと、中間部品の中央ダクトに対し設けられ前記出張りに協働する少なくとも1つののらせん状傾斜路とを設けるのがよい。一般に正反対に位置する2つの出張りを、正反対に位置するらせん形傾斜路に組合うように設ける。

【0013】本発明によれば連結手段は、結合手段とは全く異なるから、使用が容易になるように連結手段に加える同じ拘束作用(小さい回転角度で中間部品に対し生ずる第2のびんの大きい軸線方向移動)が結合手段に加えられない。

【0014】キャップ1と、第2のびんの頸部との間の結合手段は、従ってとくにピッチを縮小したねじから成るが、中央ダクトに設けたらせん形の傾斜路は、前記ねじより長いピッチを持つ。このらせん形の傾斜路のピッチは、栓をはずすのに必要な、中間部品に対する第2のびんの頸部の軸線方向移動が1回転以下で得られるよう

10

20

30

40

50

なピッチである。

【0015】ガラスびんに出張りを設けることはとくには問題にならない。すなわち第2のびんは、ガラスで作られ、大気中の酸素から内容物を保護する有効な障壁になる。

【0016】中間部品に位置させたらせん形の傾斜路と、第2のびんの頸部に設けた出張りととの協働により、中間部品に対する第2のびんの運動の終りに正確な場所を確実に定める。これ等の条件のもとで第1及び第2のびんは、卵形横断面を持つのがよい。その理由は、らせん形の傾斜路／出張りの系により確実に得られる運動の終りの厳密な位置決めによって両方のびんの卵形断面の大直径の良好な重ね合わせ従って満足の得られる表示ができるからである。

【0017】中間部品はその中央ダクトに、第2のびんの出張りとの協働して作用するキャップ安全錠を備えるのがよい。このキャップ安全錠は、らせん形の傾斜路のねじ運動の終りに突起を通過する出張りから成っている。

【0018】貯蔵の際に第2のびんの頸部の単一の又は多数の出張りは、第2のびんを閉じるキャップの外径とほぼ同じ外径を持つ円筒形区間に位置する。しかし中間部品の中央ダクトの内径は、前記円筒形区間従ってキャップを入れるのに十分である。

【0019】貯蔵の際に栓を完備した第2のびんの頸部は中間部品の中央ダクト内に導入して所要の空間を減らすことができる。このパッケージは、貯蔵の際に第2のびんのキャップが中間部品の中央ダクトに十分に入るように構成することができる。

【0020】貯蔵の際に、このパッケージは、上下続きの単位体 (one piece unit) にするのがよい。中間部品内に頸部を挿入した第2のびんはとくに不正手段でこじあけられないバンド (tamper proof band) により上部びん又は中間部品に連結する。

【0021】中間部品は、連結の完了時に、使用後の作動を確実にしキャップ安全錠を形成する可能な切欠きに第2のびんを係合させる下部部分を持つスカート部を備える。

【0022】中間部品は、第1のびんの底部に位置させたスカート部を受入れる環状の皿形又はくぼみの形の中空部分を備える。中間部品及びスカート部の間の密封はスカート部の内面に対し行われる。

【0023】第1のびんのスカート部は、中間部品の環状の皿形の外壁の内面の肩部に少なくとも鎖錠する外側ビードを備えている。円周の一部に沿って延びる角度的な隔離を持つ複数の肩部を中間部品に設ける。この中間部品は成形及び取出しが容易になるように各肩部の下方に窓を設けてある。

【0024】前記した所は別にして本発明を添付図面について述べる実施例により以下になお詳しく説明する。

【0025】

【実施例】図示のようにとくに図1ないし3には2種類の製品一般に液体製品を別々に貯蔵し使用時に混合することのできる2個のびん1、2を持つパッケージCを示してある。

【0026】第1のびん1は、第1の液体製品、たとえば毛染めのために第2のびん2内に入れた酸化染料と混合するのに使う酸化剤を入れる。

【0027】びん1は、比較的小さい直径の円形断面を持つ円筒形スカート部3を備え、底部が開口している。スカート部3は外向きのテーパ部4によりびん1の主要部の壁に連結してある。スカート部3は、その下縁部に近接して、その外面に半径方向に突出する円形の唇状部5を持つ。スカート部3とは反対側の末端に位置する頂部においてびん1は、閉じた分配キャップ7を、ねじ込み密封するねじ付きダクト6を設けてある。この分配キャップの端部は、容易に折りとられ (snapped off)、使用時に製品を注ぐ開口を生成する。

【0028】1種のカラール形成する中間部品8は、びん1の底部すなわちスカート部3に固定される。このプラスチック材料製の中間部品8は、大体において円形断面を持つ円筒形の中央ダクト9を備え、頂部に栓10を受入れる。栓10は、中央ダクト9の上端部に密封体として挿入される1種のキャップである。びん1に向かい栓10に加える推力により、栓10を中央ダクト9から分離し、栓10をびん1に入れる。図4に明らかなように中央ダクト9は、スカート部3に入り、スカート部3の内面に密封部を形成する。この密封は、中央ダクト9の外面の周辺突出ビード11のレベルで得られ、このレベルは、スカート部3の内面に接触する。スカート部3の円筒形の下部部分12も又、中央ダクト9の底部に近く位置する中央ダクト9の外面の区域13上に支えられ密封部を形成する。

【0029】中間部品8は、びん1と同様な形状の断面を持つ外壁14を備える。この形状は図2に示すように卵形がよい。

【0030】中央ダクト9と、中間部品8の外壁14との間の連結は、びん1の方に向いた凹入部分を持つ環状の皿形又はくぼみ16の形の中空部分15により確実に行われる。この皿形の端部壁17は、びん1の反対側のダクト9の端部に連結される。くぼみ16は、びん1のスカート部3を入れ、機械的リンクを形成できる。

【0031】この機械的リンクは、図示の例に示すように、くぼみ16の外壁19の内面にくぼみ16の内側に向かい半径方向に突出する肩部18により確実に得られる。肩部18は、円周の一部にわたって延びるだけで角度方向に規則正しく等間隔に相互に隔てている。1例として3つの肩部18を設けてある。これ等の肩部の中心は120°の角度的距離を隔てている。

【0032】中間部品8は、各肩部18に対し直角をな

して、外壁19の下部区域に部分的に延び、又端部壁17の外部区域に部分的に延びる窓20を持つ。窓20は、頂部は肩部18の下方に位置する半径方向縁部21により限定され、又底部は端部壁17内の縁部22により限定される。この構造により中間部品8を2部分から成る型内で成形することができる。一方の型部分は上方に動き、他方は下方に動く。半径方向において縁部22は、唇状部18の下縁部23のわずかに内側である。

【0033】スカート部3の連続周縁部5は、各肩部18の下側を押圧するようにしてある。

【0034】栓10を完備した中間部品8（図4参照）を、びん1のスカート部3に組付けるときは、びん1の下部部分は閉じられ、密封される。

【0035】スカート部3と中間部品8との間を確実に機械的に結合し密封するために、他の手段を使ってもよいのは明らかである。下部部分12のレベルにおける密封状態が満足が得られれば、周辺突出ビード11は除いてもよい。

【0036】中間部品8の中央ダクト9は、染料を入れる第2のびん2の頸部24を底部で受入れるようにしてある。

【0037】頸部24は、貯蔵のために密封を確実にするキャップ25を取付けてある。

【0038】頸部24とキャップ25との間に結合手段Lを設けてある。結合手段Lは、頸部24の円筒形外面のねじ26と、円筒形覆いの形に配置したキャップ25の円筒形内面の協働するねじ27とから成る。ねじ26【従ってねじ27】のピッチpは制限された値を持つ。

【0039】キャップ25の外径dは、中央ダクト9の下部部分の内径hよりわずかに小さくして、キャップ25が図4に示すように中央ダクトに入ることができるようにするのがよい。

【0040】結合手段Lとは異なる連結手段Jは、中央ダクト9と頸部24との間に設けてある。連結手段Jは、正反対に位置する2つの突起28から成り、頸部24上に位置する部分を備えている。突起28の数は、2より多くても少なくともよいのは明らかである。連結手段Jは又、中央ダクト9に設けられ、それぞれ出張り28と協働する2つのらせん形の傾斜路29により形成した出張り28の協働部分を備えている。

【0041】傾斜路29のピッチは、ねじ26のピッチpより著しく大きい。

【0042】らせん形の傾斜路29のピッチは、栓10をはずすのに必要な、頸部24の中間部品8に対する軸線方向移動が、中間部品8に対する頸部24の1回転より小さい回転によって得られるように選定するのがよい。

【0043】中央ダクト9の円筒形内面は、ねじ26の最大外径より大きい直径hを持ち、キャップ25から解放された頸部24をダクト9内に導入するときにはらせん

形の傾斜路29がねじ26に干渉できないようにする。

【0044】出張り28は、頸部から半径方向に突出し、キャップ25の外径dに実質的に等しい外径を持つ円筒形区間30上に位置させてある。

【0045】この円筒形区間30は、中央ダクト9に入ることができる。

【0046】第2のびん2は、ガラスで作られ、びん内に含まれる染料を大気中の酸素に対し最高に保護するようにするのがよい。

10 【0047】ガラス製のびん2の生産には問題がない。ガラス製のびんのねじ26は縮少したピッチを持ち、キャップ25を満足させる形態ではめることができる。このようにしないとキャップ25は傾斜路29の場合のような大きいピッチでは満足が得られない。ガラスびんに出張り28を設けることも問題にならない。

20 【0048】出張り28及びらせん形の傾斜路29の組合せにより、出張り28及び傾斜路29の組付けにより中間部品8に対しびん2の角度的に正確な位置決めができる。これ等の条件のもとでは図2に示すようにびん1と、中間部品8の外壁14と、びん2と横断面は卵形にすればよい。その理由は、種々の組合せの正確な位置決めにより、びん1、中間部品8及びびん2の各横断面の大寸法を満足の得られる状態で重ね合わせることができるからである。

30 【0049】中間部品8は、各らせん形の傾斜路29の上端部の突起sから成る安全ねじ錠(safety screw lock)を備えている。突起sは、ねじ込みの完了時に関連する出張り28に交差するようにしてある。このことは、弾性ひずみにより確実にできる。出張り28が突起sに交差するときは、（図5参照）出張り28は鎖錠され、中間部品8からのびん2のねじ戻りを防ぐ。

【0050】中間部品8の外壁は、連結の完了時に第2のびん2を下部分により覆うスカート部14を形成する。びん2の回転の終りのわずかな音と栓10のはずれとにより信号を受ける鎖錠手段は、スカート部14の下部分と、びん2との間に設けられ、又ねじ戻りに対し付加的な安全錠を形成する。

40 【0051】図面とくに図4に例示した例では、キャップ25は、下部部分において、半径方向外方に突出し貯蔵位置で中央ダクト9内へのキャップ25の入込みを制限するカラー31を持つ。

【0052】びん2を、貯蔵のためにキャップ25により閉じるときは、キャップ25をさらに前方に中央ダクト9内にたとえば、栓10を受入れる部分である中央ダクト9の上部部分の減小するテーパの始まりを明示する曲がり32のレベルまで導入するような、キャップ25と頸部24との配置を提供することは可能である。このようにして貯蔵の際にキャップ25は栓10と同一平面になり、本発明パッケージに必要な全空間が最小にな

る。

【0053】このようにしてびんの充てん、貯蔵及び使用は次のように行う。

【0054】栓10を、中央ダクト9の上端部に位置させる。次いでびん1のスカート部3を、中間部品8の環状のくぼみ16内の位置に固定する。このようにしてびん1の下部部分を閉じて密封する。びん1のねじ付きダクト6には、なおその分配キャップが取付けられてない。次いでこのパッケージが酸化染料用に使用される場合に、たとえば酸化液体製品をびん1に充てんする。次いでびん1を、切断してない端部を持つ分配キャップ7で閉じる。

【0055】ガラスびん2に、その液体内容物、この場合の例では染料を充てんし、次いで頸部24にねじ込んだキャップ25で閉じて密封する。

【0056】この場合びん1、2は各別に貯蔵することができる。貯蔵のために頸部24に取付けたキャップ25は、図4に示すように中央ダクト9の下部部分に導入される。

【0057】使用者が本発明のパッケージを使い2種類の液体を混合しようとするときは、びん2を中間部品8からはずし、キャップ25をねじ戻す。

【0058】使用者は、キャップ25を除いた頸部24を中央ダクト9内に挿入し、この頸部24を回しながら出張り28がらせん形の傾斜路29の底部に接触するまで軸線方向に押す。

【0059】びん2と中間部品8との間の回転運動により、使用者は出張り28が図5に示すように傾斜路29内で確実に上昇するようにする。

【0060】この上昇運動が完了すると、頸部24の上部分には栓10をはずして、びん1を開く。この間に頸部24の円筒形上縁部24aは、図6に示すように中央ダクト9の上端部の内面に密封体として押しつけられる。

【0061】出張り28は、傾斜路29の安全ねじ錠sにより、ねじ込み運動の終りに停止する。

【0062】びん組合せを震動させる種類の液体を良好*

*に混合した後、使用者は次いで分配キャップ7を開き混合物を注ぎ出す。

【0063】びん2は、製品の塗布中にびん1に固着定め密封されたままになっている。

【0064】本発明パッケージは、ガラスびん2すなわち貯蔵中に染料を酸化に対し有効に保護する材料の使用ができる簡単なかつ迅速な使用のできる装置である。

【図面の簡単な説明】

【図1】第2のびんを中間部品にはめた2個の便を備えたパッケージの正面図である。

【図2】図1の平面図である。

【図3】図1のパッケージを一部を軸断面にして示す展開正面図である。

【図4】第1のびんの下部部分と、中間部品と、第2のびんの上部部分とを貯蔵状態で示す拡大軸断面図である。

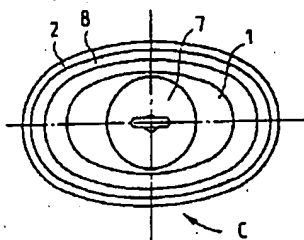
【図5】キャップを第2のびんの頸部からはずし、頸部の出張りが中間部品のらせん形の傾斜路に係合し始める状態のパッケージの図4と同様な軸断面図である。

【図6】混合のために第2のびんと中間部品との組立ての完了した状態で栓を中間部品からはずして示す図4と同様な軸断面図である。

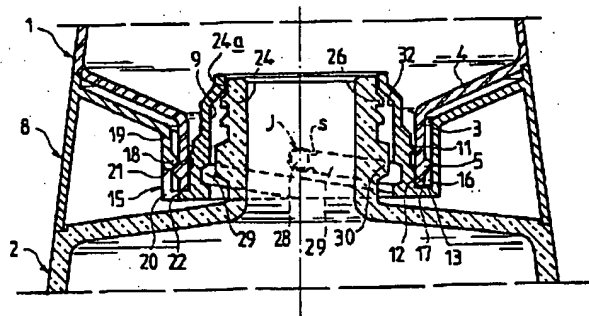
【符号の説明】

- | | |
|----|---------------|
| 1 | 第1のびん |
| 2 | 第2のびん |
| 3 | スカート部 |
| 7 | 分配取付具（分配キャップ） |
| 8 | 中間部品 |
| 9 | 中央ダクト |
| 10 | 栓 |
| 24 | 頸部 |
| 25 | キャップ |
| 28 | 部分 |
| 29 | 協働部分 |
| J | 連結手段 |
| L | 結合手段 |

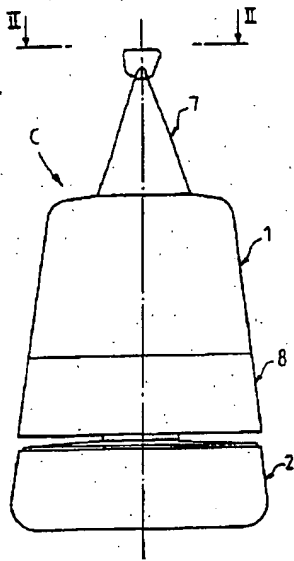
【図2】



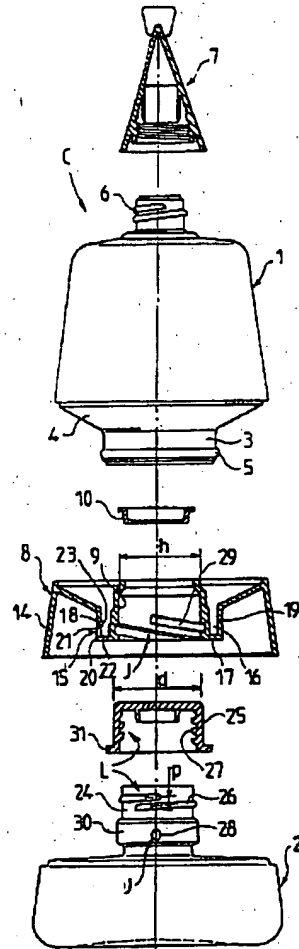
【図6】



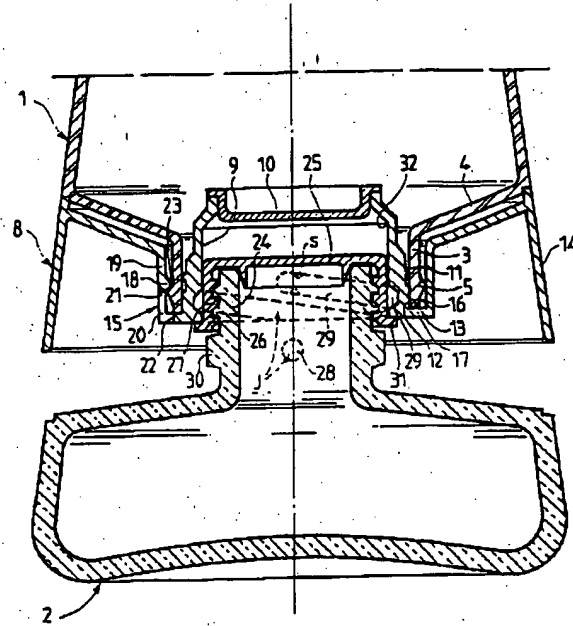
【図1】



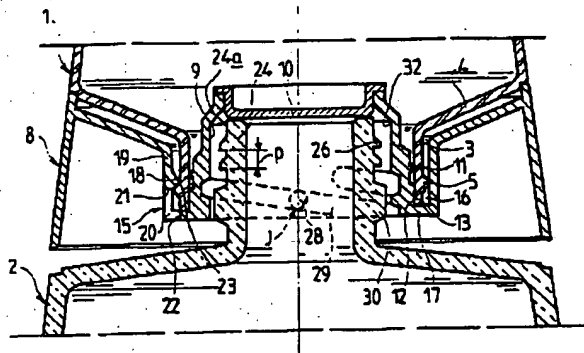
【図3】



【図4】



【図5】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.